



青い地球を守ろうと呼び掛ける

てらだ  
**寺田**  
なほ  
**奈穂**  
さん

**PROFILE** てらだ・なほ (13: 薄原区)  
御前崎中学校2年。意識して古紙回収に取り組む。AEON「ドイツに学ぶエコライフ」ツアー作文コンクールでも入選を果たす。

**県知事賞を受賞**

「地球に優しい生き方をしたいのために」と題し、調査を基に周囲に行動を呼び掛け、自身の生活も振り返った作文が、「平成22年度こども環境作文コンクール」で静岡県知事賞に輝いた。

作文を書いたのは、御前崎中学校2年寺田奈穂さん(薄原区)。同コンクールは、環境について学んだことや日ごろ思っていることを振り返り、今後の暮らしの中で、どんな行動をしていったらいいのかを考え、行動してもらうために、県が県内の小・中学生を対象に毎年実施している。昨年度は、170校、1780作品の応募があった。

**気持ち表れた作文**

作文は、自然豊かな御前崎でも環境問題が深刻化しているという現状を受け、マイバッグやマイ箸、マイボトルの他に自分にできることはなにかと考えていく。寺田さんは興味があった古紙リサイクルにスポットを当てて、雑誌

や古紙回収BOXの効果などを調べた。古紙回収BOXが設置されたことで、古紙がたくさん再利用されていることが判明。一方で、地域間でエコや古紙に対する取り組みに温度差があること、雑誌の分別に対する認識の甘さがあることなども分かった。環境先進国のドイツへ行き、エコライフも学んだ。寺田さんは、生物と共存していくには、人間の思うままに生活してはいけない。手に入りやすい物を使い捨てていくのではなく、地球に優しい物を大事に使っていくことが大切。一人ひとりが気付き地球を守る努力をしてほしいとまとめている。

**全員で守らなきゃ**

「私は自然豊かな御前崎が大好きです。大人になったら私も、この素晴らしい自然が残っていてほしいです。地球上の人が取り組まなくては、環境問題は解決しません。関心がないと行動に移すことはいらないと思います。まずは、環境問題に関心をもつてほしいです。そして、アクションを起こしてもらいたいです」